

# 会社へのエントリーについて

## (1)応募方法

### a.自由応募

大学への届け出は原則不要。

内定ができる都度の報告は、必要としないが、入社を決めた場合は、報告すること

### b.教授推薦

指導教員による推薦状による応募。

こちらにも、原則として、エントリーやプロセスについての報告は

### c.学校推薦

学部長名での推薦状による応募。

応募に当たっては、面談等により、推薦状の発行の可否を判断  
内定が出た場合には、その会社に入社することが条件。

# 会社へのエントリーについて

## (2)求人票の見方

### a.求人票リスト

応募方法、企業名、事業内容、勤務地の概要を記載

応募種別や応募方法についても、記載はしているが、企業毎に違いがあるので、かならず、個別の求人票を確認すること

### b.求人票

WEBに掲載しているものは、求人票のみなので、必ず、就職支援コーナーにある資料を確認すること

# 会社へのエントリーについて

## (3)学校推薦について

### a.学校推薦で応募フロー(1)

#### ①学内エントリー

学校推薦で応募したい企業名を記載して、メールにて、面談のアポイントを取って下さい。

理想としては、学校推薦での応募を決める前に、インターンシップや工場見学、会社訪問などを通じて、会社のことをよく調べて下さい。

#### ②企業との調整

推薦枠や、応募フローなどを、担当教員側で確認をします。

#### ②‘学内調整

推薦枠に対して、希望者が多数の場合は、学内調整を行います。

# 会社へのエントリーについて

## (3)学校推薦について

### a.学校推薦で応募フロー(2)

#### ③学内面談

就職担当教員が面談の上、推薦状発行の可否を決定します。

(確認事項)

- ・卒業準備(単位取得状況、卒論・修論への取り組み状況)
- ・入社意思
- ・準備状況(企業研究の状況)

#### ④推薦状の発行

推薦状の発行が可となった場合、速やかに推薦状を発行いたします。大学から送付する場合を除き、推薦状を指定の日時に取りに来て下さい。

# 会社へのエントリーについて

## (3)学校推薦について

### b.学校推薦で応募する際の注意

学校推薦で応募するということは、内定が出たらその会社に入社することを約束するということ。一旦、学校推薦で内定が出た人に対して、その後の就職活動に関連した必要書類の発行は断ることがあります。

学校推薦での応募と平行して自由応募での就活を行うことは、禁ずるものではありませんが、学校推薦で応募している企業から、内定が出た場合は、その時点で、自由応募での選考は辞退して下さい。

# 会社へのエントリーについて

## (4)自由応募での活動について

### a.自由応募での就活の注意

- ・自由応募に関しては、原則、大学は関与しませんが、成績証明書など必要書類の中には、発行までに時間がかかるものがありますから、早めに準備して下さい。
- ・複数の企業に対して同時に活動することは、問題ありませんが、選考日程の重複なども起こりやすいので、早めに確認しながら、進めて下さい。
- ・内定辞退については、特に、速やかに、かつ、丁寧に行って下さい。

# 会社へのエントリーについて

## (4)自由応募での活動について

### b.自由応募から推薦応募に切り替わる場合の注意

- 自由応募のプロセスの途中から推薦状が必要になることが多々あります。
- 単に推薦状が必要ということであれば、必要な手続きをとって下さい。
- プロセスそのものが学校推薦に切り替わる場合は、切り替わった時点で、報告を必ず行って下さい。推薦枠や手続きについての確認が必要な場合がありますので、必ず、切り替わった時点で、報告するようにしてください。

# 会社へのエントリーについて

## (4)自由応募での活動について

### c.推薦応募に切り替わる場合の手続き

#### ①学校推薦

就職担当教員に、切り替わった時点で、切り替わったことを報告すること。大学として準備すべき書類がわかっている場合は、その内容も連絡して下さい。

#### ②教授推薦

原則的には、指導教員の先生に対応してもらうこととなりますので、就職担当教員への報告は不要です。指導教員の先生の実対応が難しい場合や、書類作成上で問題がある場合は、相談して下さい。